

平成29年11月6日（月）
新宿区役所5階大会議室

平成29年度 第1回新宿区消防団運営委員会資料

目 次

- 1 検討の方向性（一部修正）・・・・・・・・・・P1～3
- 2 答申（素案）の作成・・・・・・・・・・P4～19

新宿区消防団運営委員会

諮問事項に対する検討の方向性について(案)

I 諮問事項

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか

II 検討の方向性

1. 東京2020大会における主な課題等

(1) 夏季に開催されること。(オリンピック 2020/7/22 ~ 8/9・パラリンピック 2020/8/25 ~ 9/6)

→ 多数の熱中症による傷病者が予想されること。

(2) 各種競技会場は、新宿区に建設される新国立競技場をはじめ、特別区内を中心に複数の競技会場で広範囲に実施されること。

→ 一定期間に多数の警戒要員が必要となること。また、情報の収集と共有化が必要であること。

(3) 国際的スポーツイベントで、国内外から多数の来場者が予想されること。

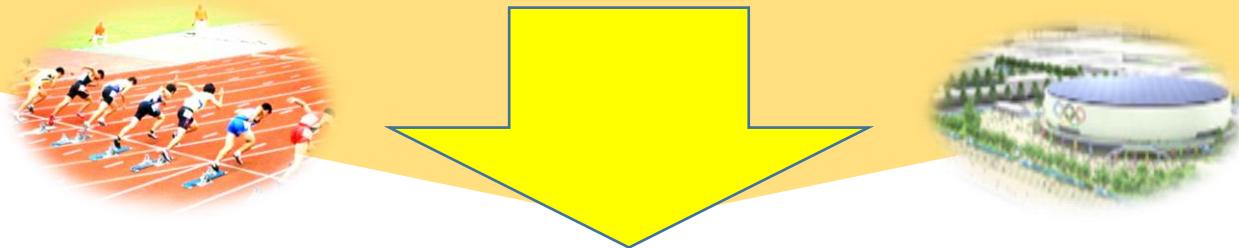
→ 活動に外国語などのコミュニケーション能力が必要であること。

(4) 特別区消防団は、大会開催期間中の各種災害の未然防止や、災害発生時における被害を最小限にとどめるために、全消防団を挙げ応援による警戒活動を実施する予定であること。

→ 災害予防知識及び災害活動能力の一層の向上が必要であり、また、他の地域の消防団員が多数警戒に従事する可能性があること。

(5) 新国立競技場において、開催式をはじめ多数の競技が行われること。(開会式・サッカー・陸上トラック・競歩・マラソン・閉会式等)

→ 新宿区においては競技場とその周辺、駅、繁華街、マラソンコース等で大規模な警戒が期間中、長時間実施することが予想されること。多くの警戒団員が活動することから指揮能力の向上が求められること。



2. 活動能力を強化する方策

(1) 警戒に伴う装備資機材について

新規整備又は、すでに配置されている装備資機材の増強についての検討

(2) 警戒に向けた教育訓練について

教育訓練・資格講習・教育訓練用資機材・その他教育訓練に必要な内容及び資機材等についての検討

(3) 各消防団の情勢に対応した検討事項

消防団の活動能力を強化するため、各消防団の情勢に応じ、東京2020大会に向けて必要な事項についての検討

(1) 警戒に伴う装備資機材について

具体的なイメージ

① 夏季の警戒に伴う熱中症予防対策用装備資機材

- ・冷却ベスト・冷感ヘルメット
- ・冷感素材の団被服の配置

② 広範囲に及ぶ警戒時に必要となる情報通信用装備資機材

- ・MC A無線機の増強
- ・400Hz無線機の増強

③ 様々な情報媒体による情報収集用装備資機材

- ・警戒団員用タブレットの配置
(位置情報を含めた機能を装備)

④ 発生した傷病者に対応するための応急救護用装備資機材

- ・冷却用救急資器材
- ・AED等の配置
- ・外傷用救急資器材の配置
- ・応急担架(軽量型)の配置

⑤ 発生した火災に対応するための消火用装備資機材

携帯型消火資機材の配置

⑥ 多数の来日した外国人観光客に対応するための装備資機材

- ・救急事象に対応する通訳ソフト
- ・消防に関する案内、救急相談パネル等の設置

⑦ その他、必要な装備資機材

- ・警戒団員の休息用テント
- ・夜間警戒用の照明装置
- ・傷病者、障がい者の移動用車いすの配置
- ・機動力を生かした自転車(アシスト)隊の編成
- ・警戒人員の輸送、傷病者搬送用車両の配置

(2) 警戒に向けた教育訓練について

具体的なイメージ

① 消防署隊と連携した警戒や災害対応に関する教育訓練

- ・災害発生時の対応訓練
避難誘導訓練、安全管理教養の実施

② 他の消防団との連携や災害対応に関する教育訓練

- ・他の消防団と連携した各種指揮統制訓練の実施

③ 発生した傷病者に対応するため、応急救護能力の向上を目的とした教育訓練

- ・団員の上級救命修了による応急救護能力の向上
- ・熱中症、外傷、心肺停止傷病者に対応する救護訓練
- ・多数傷病者発生時のトリアージ方法等の教養

④ 迅速な消火活動能力の向上を目的とした教育訓練

- ・火災発生時の早期出場及び早期放水訓練の実施
- ・緊急走行訓練（拡声要領含む）の実施

⑤ 情報通信用装備資機材の取扱いの習熟を目的とした教育訓練

- ・無線機取扱い教養の実施
- ・各種図上訓練による無線運用技術の向上

⑥ その他、必要な教育訓練

- ・外国語教養等によるコミュニケーション能力の向上
- ・管内のオリパラ施設、消防水利の事前把握、教養

(3) 各消防団の情勢に対応した検討事項

具体的なイメージ

① 警戒実施時の諸問題

- ・応援消防団員の受入や警戒員の疲労軽減を考慮した警戒計画の樹立
- ・警戒員の待機、打合せスペース、トイレ等の確保
- ・食糧及び水分の調達、確保

② テロ発生時の安全管理方策

- ・保有する資器材で対応可能な住民の避難誘導や応急救護活動等消防隊の後方支援活動
- ・化学、生物、放射性物質、核等の知識の教養・対応訓練
- ★ 消防隊の指揮本部長の指揮に基づき、安全性を十分に確保した中で活動することを原則とします。

③ その他、必要な事項

- ・国、警察、区役所等の関係機関との定期的な情報交換
- ・オリパラ会場、練習会場及び宿泊施設等を含めた事前把握

新宿区消防団運営委員会答申(素案)

諮問事項

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか。」

はじめに

近年、各地で地震・水災等の大規模な自然災害が発生しており、東京においても直下地震等による大きな被害の発生が予測される中、「地域密着力」「要員動員力」「即時対応力」を兼ね備えている消防団には大きな期待が寄せられているところである。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」という。)において、メイン会場となる新国立競技場を中心に複数の競技場で広範囲に実施され国内外から多数の来場者が見込まれ、災害の未然防止と災害発生時における人的・物的被害を最小限にとどめるために消防署隊と連携し、消防団員の活動能力を強化する必要がある。このことから具体的な方策を検討し次のとおり答申する。

第1 各消防団の情勢に対応した事項について

新宿区には、メイン会場となる新国立競技場が建設中であり、マラソン競技では発着地点となることが決定している。

東京2020大会では、新宿区外の消防団員の応援を受けての各種警戒活動が予想されることから、消防署、主催者を中心として隣接消防団等との各種訓練を実施し、情報の共有と連携体制の構築を図ることが望まれる。

また、オリンピック応援、観戦等の目的で国内外から多くの来場者が見込まれ、テロ災害も危惧される。安全が確保されることが前提となることから、消防署隊と連携した活動を基本とし、消防団員のテロ災害発生時の安全管理に対する基礎知識の教養と初動対応要領訓練を実施する。さらに、猛暑時期での開催となり、多数の熱中症者発生時の対応訓

練と団員自身の熱中症対策も必要である。

このことから、各種災害対応力の技術向上と隣接消防団等の警戒活動等を踏まえた合同訓練を実施するほか、暑さ対策を図ることが望まれる。

第2 教育訓練について

平素から消防団員の活動能力向上を目的とした教育訓練に取り組んでいるところであるが、東京2020大会に向けて、さらに災害対応力の向上を図るため、より実践的な教育訓練を実施し、万全を期す必要がある。

1 重点項目

- (1) 消防署隊と連携した警戒や災害対応に関する教育訓練
- (2) 他の消防団との連携や災害対応に関する教育訓練
- (3) 応急救護能力の向上を目的とした教育訓練
- (4) 迅速な消火活動能力の向上を目的とした教育訓練
- (5) 情報通信用装備資器材の取扱いの習熟を目的とした教育訓練
- (6) その他、必要な教育訓練

2 推進事項

- (1) 消防団の災害活動については、消防隊の指揮本部長の指揮に基づき活動することを原則とし、さらに安全が確認された中で、消防団が保有する装備資器材に応じた活動を行うこととしている。

この現状において、災害発生時の対応要領の教養及び署隊と連携した避難誘導や応急救護活動要領の向上を図る必要がある。

- (2) 震災訓練・水防訓練等の機会を捉え、大規模災害発生時における特別区消防団の相互応援を想定した、消火活動訓練や応急救護訓練、無線による情報伝達訓練を推進する必要がある。

さらに、区外消防団との連携を図るため他団の応援を取り入れた訓練も実施する必要がある。

- (3) 大規模災害発生時には消防署隊との連携を図り、消防団として上位の指揮者の統制により消防署隊と情報の共有を図り、組織的な活動ができるよう実践的な訓練を実施する必要がある。
- (4) 救命講習資格取得については、応急手当指導員等の上位資格を取得し、団員個々の応急救護技術の向上を図ることにより、団組

織全体の応急救護力の底上げを推進する必要がある。【資料1参照】

- (5) 初期消火能力の大幅な向上を図るため、現有する可搬ポンプに加え、スタンドパイプの習熟訓練を推進する必要がある。
- (6) 各種無線機の取扱いの習熟と無線交信において、正確かつ迅速な情報伝達を行うための訓練を推進する。
- (7) 外国語対応可能な団員を特殊技能団員として位置づけ、医療・語学専用の腕章を活用し、消防団員の語学教養の指導者や警戒現場での通訳等、特殊技能団員の人材を有効活用する。

3 その他

障がい者理解のための必要な教育訓練を推進する必要がある。

第3 装備資器材の充実強化

東京2020大会は夏季時期に開催され、特別区内を中心に複数の競技会場で広範囲に実施される。

また、国内外から多数の来場者が予想されることから、大会開催中の各種災害の未然防止や、災害発生時に被害を最小限にとどめるため新たな装備や資器材の配置、増強を検討する必要がある。

1 重点項目

- (1) 警戒等に必要となる資器材の確保
- (2) 傷病者への応急救護
- (3) 消火用装備の充実
- (4) 熱中症予防対策
- (5) その他必要な装備資器材

2 推進事項

- (1) 現在、消防団が所有している無線機のうち分団長以上及び消火班長にMCA無線・携帯無線機(400メガ)を配置し、各分団にトランシーバーを3台配置している。

競技会場では、複数名がそれぞれの場所を巡回し警戒にあたるため、有事の際にも迅速かつ適切な対応を行うためには、一斉に情報を伝達することが求められる。そのため、正確かつ迅速な情報伝達のためにも、MCA無線機・携帯無線機(400メガ)を副分団長以下の団員にも増強配備する必要がある。【資料2参照】

また、警戒時の情報収集ツールとしてタブレットやスマートフォンの配置を検討する必要がある。

- (2) 現在、消防団に配置されていない、AED(自動体外式除細動器)を配置し、すでに配置されている応急救護バックについては、増加配置が必要である。

これらの資器材を配置することにより、応急救護の初動対応の迅速化が図られる。【資料3参照】

- (3) スタンドパイプは、可搬ポンプ無しで放水することが可能であり、消火活動の迅速性を大幅に向上することができ、有事の際に群集の中でも搬送ができることから、各現地警戒本部等に配置することが必要である。【資料4参照】

- (4) 日本語を話せない傷病者の状況にある程度把握し、応急救護の初期対応に活用である「救急用コミュニケーション支援ボード」の消防団への配置することが必要である。

本ボードの対応言語は、英語、韓国語、中国語、ポルトガル語、スペイン語の5ヶ国語であり、東京消防庁で使用している。【資料5参照】

- (5) 東京2020大会が夏場の時期に開催されることから、暑さを考慮した服装に配慮すると同時に、熱中症対策として、冷却ベストを個人配置する。また、防火衣等の被服が、火災等の熱から身体を保護する素材であり、身体の熱を逃がすことができないことから、体温の上昇を防ぐためにも保冷剤を着装できるベスト等の配置が必要である。【資料6参照】

- (6) 消防団員に配置されている個人装備品及び資器材等一覧【資料7・8参照】

おわりに

東京2020大会は、夏場の時期の開催となり、開催期間中には国内外からの多くの人と物の流れが予想されます。

また、多様な災害の発生も危惧される中、災害の未然防止と災害発生時における被害を最小限にとどめるため、消防団に寄せられる期待は非

常に大きい。

これまでも、積極的に実戦的な発災型訓練や多数のけが人が発生した場合の初動対応訓練を実施してきたところであり、さらに教育訓練を図るとともに必要資器材の充実強化が必要不可欠である。

その結果、東京2020大会において万全を期した警戒活動を行い、大会の成功に寄与することにより、地域に密着した防災リーダーとして活動能力の強化が図られるものである。

別添え資料

- 1 新宿区消防団員救命資格・特殊技能団員
- 2 MCA無線機・携帯無線機
- 3 AED・応急救護資器材
- 4 スタンドパイプ
- 5 コミュニケーション支援ボード
- 6 冷却ベスト
- 7 安全装備資機材
- 8 消防団配置資機材

新宿区消防団員救命資格者数

平成 29 年 1 1 月 1 日現在

	現 員	救命講習資格者等	割合
四谷	88(22)	59(8)	67%
牛込	133(27)	120(24)	90%
新宿	294(67)	253(53)	86%

() は、女性団員数

新宿区消防団員特殊技能団員数

平成 29 年 1 1 月 1 日現在

	重機操作	自動車運転	医療	活動支援	合計
四谷	2	9	0	12	22
牛込	7	3	1	4	15
新宿	1	7	1	4	13

項 目	内 容
重機操作	重機を操作し、災害に対応した活動
自動車運転	マイクロバス等を運行し、人員・資器材の搬送
医 療	現場救護所等における救護活動
活動支援	語学、手話を活用し、災害活動等の支援

各種無線関係

① MCA無線

特別区消防団の災害現場等における情報伝達体制を強化し、総合的な災害対応力を向上させるため、特別区消防団専用の無線通信機として整備しています。特別区消防団専用無線通信機は、800メガ帯デジタルMCA（マルチ・チャンネル・アクセス）無線で、中継局（新宿・江東等）を経由して通信が行われます。（※使用時に第三級陸上特殊無線技士等の資格は必要ありません。）

② 携帯無線機（400メガ）

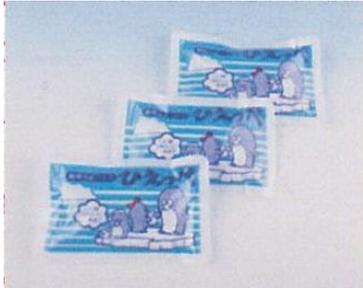
消防署隊が使用している署活波を使用しています。

③ 受令機 災害受信用として使用しています。

④ トランシーバー 団員同士の連絡・伝達手段として使用しています。



主な応急救護資器材

<p style="text-align: center;">冷却剤</p> 	<p style="text-align: center;">ディスポーザブル手袋</p> 
<p style="text-align: center;">滅菌ガーゼ</p> 	<p style="text-align: center;">三角巾</p> 

配置希望資器材

<p style="text-align: center;">感染防止衣</p> 	<p style="text-align: center;">AED</p> 
---	--

スタンドパイプ

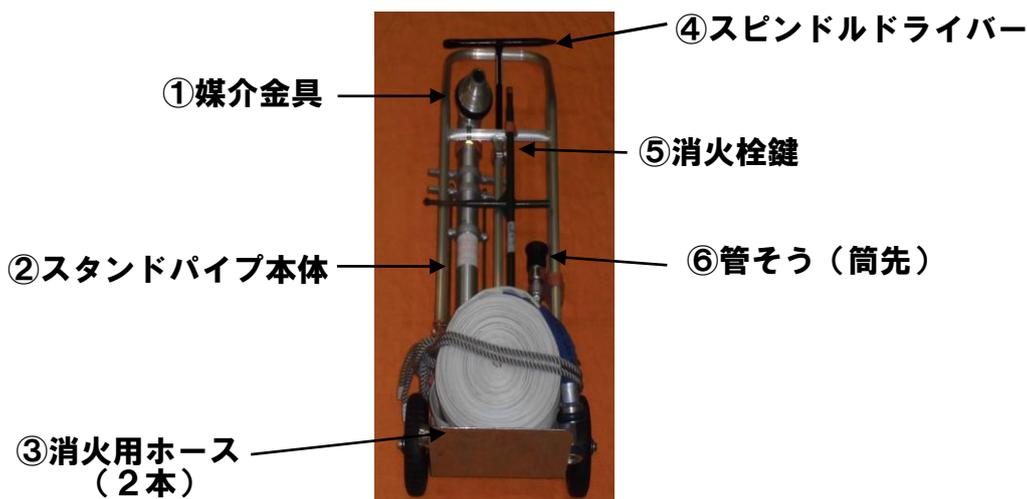
スタンドパイプの性能

(1) スタンドパイプとは

スタンドパイプは、消火栓に差込みホースと管そうを結合することで、毎分 100ℓ 以上の放水ができる消火用資器材です。消火用資器材としては軽量で操作も簡単で、消防車両が進入できない狭い道路の地域や木造住宅密集地域では、火元直近の消火栓・排水栓を活用した有効な消火活動ができます。スタンドパイプ本体のほか、消火栓鍵、スピンドルドライバー、媒介金具、ホース、管そう（筒先）で構成されています。

スタンドパイプの主な配置場所は、町会・自治会の会館や防災倉庫などです。皆さんの身近で、どこにあるか知っておくと、いざという時に非常に有効です。

(2) スタンドパイプ各部の名称、全体図



コミュニケーション支援ボード / Communication Support Board / 커뮤니케이션 지원 보드 / 交流支援板 / Quadro de suporte de comunicação / Tabla de Apoyo a la Comunicación



どうしましたか？

What seems to be the problem?

무슨 일이세요? 怎么了?

O que aconteceu? ¿Qué le sucede?



主催：明治安田こころの健康財団
監修：東京消防庁



熱がある
I have a fever
열이 있다 / 发烧
Estou com febre
Tengo fiebre



いたい
I have pain
아프다 / 疼痛
Estou sentindo dores
Siento dolor



くるしい
I feel shortness of breath
몸이 괴롭다 / 难受
Estou sufocado
Me siento muy mal



はいた
I vomited
토했다 / 呕吐了
Vomitei
He vomitado



めまいがする
I feel dizzy
어지럽다 / 头晕
Estou com tonturas
Siento mareo



血がでた
I bled
피가 나왔다 / 出血了
Estou com hemorragia
He tenido hemorragia



しびれる
I feel numb
저리다 / 发麻
Está adormecido
Tengo entumecimiento



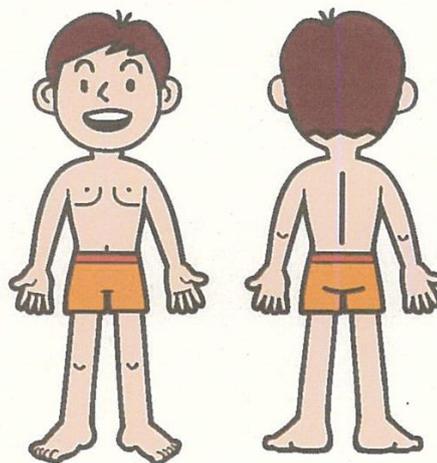
かゆい
I feel itchy
가렵다 / 发痒
Está coçando
Siento picazón



気を失う
I faint
의식을 잃다 / 晕倒
Perda de consciência
Perder el conocimiento



けいれんする
I suffer a convulsion
경련을 하다 / 痉挛
Convulsão
Tengo convulsiones



からだのどこですか？
Which part of your body?
몸의 어느 부분입니까? / 身体的哪个部位?
Em que lugar do corpo?
¿ En qué parte del cuerpo ?



体にふれます
I will check your body
좀 만지겠습니다 / 触摸身体
Vou tocar no seu corpo
Lo voy a examinar



動かないでください
Please keep still
움직이지 마십시오 / 请不要动
Não se movimente
No se mueva



少し待ってください
Please wait for a moment
잠시 기다려 주십시오 / 请稍等一下
Espere um pouco
Espere un momento



くろしい
I feel shortness of breath
몰이 괴롭다 / 难受
Estou sufocado
Me siento muy mal

いたい
I have pain
아프다 / 疼痛
Estou sentindo dores
Siento dolor

すこし
A little
조금 / 有一点 (疼痛、难受)
Um pouco
Un poco

すごく
A lot
많이 / 非常的 (疼痛、难受)
Bastante
Mucho



いつから?
When did it start?
언제부터? / 从什么时候开始的?
A partir de quando?
¿Desde cuándo?

■30分前から
30 minutes ago
30분 전부터 / 从半个小时前开始
A partir de 30 minutos antes
Desde hace 30 minutos

■1時間前から
An hour ago
1시간 전부터 / 从一个小时前开始
A partir de 1 hora antes
Desde hace una hora

■それより前
Over an hour ago
그 전부터 / 从那之前开始
Antes disso
Desde más antes



かかりつけの病院は?
Is there a hospital you usually go to?
단골병원은? / 有没有固定就诊的医院?
Qual o hospital que costuma ir?
¿Cuál es el hospital donde se atiende?

持病は? / Chronic illness? / 지병이 있습니까? / 有没有老毛病?
Você possui alguma doença? / ¿Sufre de alguna enfermedad?

●高血圧 High blood pressure 고혈압 / 高血压 Pressão alta / Presión alta	●糖尿病 Diabetes 당뇨병 / 糖尿病 Diabete / Diabetes	●心臓病 Heart disease 심장병 / 心脏病 / Doença cardíaca Trastorno del corazón	●生理中 Are you on your period? 생리중 / 月經期 Estou menstruada / Estoy menstruando
●肝炎 Hepatitis 간염 / 肝炎 Hepatitis / Hepatitis	●脳卒中 Stroke 뇌졸중 / 腦中風 Derrame / Apoplejia	●がん Cancer 암 / 癌症 Cáncer / Cáncer	●妊娠中 Are you pregnant? 임신중 / 怀孕中 Estou grávida / Estoy embarazada
●精神疾患 Mental disorder 정신질환 / 精神疾病 Doença mental / Trastorno mental	●てんかん Epilepsy 간질 / 癲癇 Epilepsia / Epilepsia	●エイズ AIDS 에이즈 / 艾滋病 Aids / SIDA	●その他 Others 그외 / 其他 Outros / Otros

あなたの... / What is your...? / 당신의? / 你的?
Seu (sua).....? / ¿Cuál es su.....? **書いてください** Please write it down / 써 주십시오 / 请写上
Por favor, escreva / Escribalo por favor

 Name 이름 / 名字 Nome 名前 Nombre	 Date of birth 생년월일 / 出生年月日 Data de nascimento Fecha de nacimiento 生年月日
 Phone number 전화 / 电话 Telefone 電話番号 Número de teléfono	 Address 주소 / 住址 Endereço 住所 Dirección



はい
Yes
네 / 是
Sim
Si



いいえ
No
아니오 / 不是
Não
No



病院へいきます
You will be taken to a hospital
병원으로 가겠습니다 / 去医院
Vamos ao hospital
Vamos al hospital

冷却ベスト

冷却ベストは、猛暑の夏に、炎天下で任務にあたる消防隊員の熱中症予防のため考案された資器材である。

冷却ベストの構造は、メッシュのチョッキに保冷剤を5個入れられる袋が付いていて、通常は、保冷剤を入れた状態で、車庫等に設置した専用の冷凍庫で保管している。

災害出場時に、防火衣等の下に装着して使用する。（写真参照）

冷却ベスト	保冷剤
	
保冷剤を設定した状況	装着した状況
	

右のドライクールベストは、500mlの水を注ぐだけで、8時間の冷却効果が持続します。



安全装備資機材一覧

防塵マスク(N95)	防塵メガネ
	
頭上ライト	救命胴衣
	
安全チョッキ	放射線測定器
	

特別区消防団の主な装備資機材 1

区分	資機材名等	配置基準
情報通信用資機材	携帯無線機 	団長、副団長、分団長、消火班長
	M C A 無線機 	団本部、団長、副団長、分団長、消火班長
	トランシーバー 	各分団 3 台
	受令機 	団長、副団長、分団長、可搬ポンプ積載車
消火用資機材	可搬ポンプ 	分団、格納庫
	消火用ホース 	各可搬ポンプ 20 本
	可搬ポンプ積載車 	分団（整備中）
	放水台座 	可搬ポンプ
	可搬ポンプ中継媒介金具 	可搬ポンプ
救助救急用資機材	携帯型救助器具 	分団
	簡易救助資器材 	可搬ポンプ
	救急カバン 	各分団 5 個
	チェーンソー 	可搬ポンプ
	万能オノ（ストライカー） 	可搬ポンプ
	万能オノ（ペンケイ） 	可搬ポンプ
	リヤカー 	各団 2 台
	担架 	各分団 4 台

特別区消防団の主な装備資機材 2

区分	資機材名等	配置基準
その他の資機材	携 帯 拡 声 器 	団本部、分団、可搬ポンプ
	投 光 機 ・ 発 動 発 電 機 	可搬ポンプ
	防 塵 マ ス ク 	全団員
	非 常 用 発 電 機 	分団
	電 光 標 示 器 (発 電 機 含 む) 	分団
	放 射 線 測 定 器 	団本部
	頭 上 ラ イ ト 	全団員
	防 塵 メ ガ ネ 	全団員
	救 命 胴 衣 	全団員
	組 立 水 槽 	分団
	可 搬 ポ ン プ 内 洗 浄 器 具 	可搬ポンプ
	震 災 用 非 常 食 	全団員 3日分
	誘 導 棒 	各可搬ポンプ 2本
	安 全 チ ョ ッ キ 	各可搬ポンプ 2着
教育用資機材	消 防 団 員 ハ ン ド ブ ッ ク 	全団員
	総 合 防 災 教 育 用 パ ネ ル 	団本部
	自 主 学 習 用 D V D 	全団員

今後の審議予定について

第2回消防団運営委員会開催

平成29年11月6日

- 1 諮問に対する審議
- 2 答申案の作成
- 3 次回の審議予定の説明

第3回消防団運営委員会開催

平成30年1月又は3月

- 1 答申案の最終審議
- 2 答申の決定

答申期日

平成30年3月31日